

Company Profile



代表取締役 高木 壘太

あなたのビジネスを効率化

トリロバイトが ビジネスチャンスを創ります

当社は、2012年に画像処理を主業とする開発会社からスピンオフしたメンバーで創業しました。

当初は、画像処理システムのハードウェア・ソフトウェアの開発を中心としておりましたが、ハードウェアはセンサー・MPU・FPGAの開発応用を医療、IoTの分野へ、ソフトウェアはスマートフォンアプリケーション・クラウドサービス開発へと、業務範囲を拡げております。

サービス

トリロバイトは、スマートフォンアプリケーションからWiFi/公衆無線を通じてクラウドシステムでデータを収集・解析し、Webアプリケーションから結果を確認する様なシステムの受託開発を得意とする企業です。また、ハードウェア開発も行っている事から、センサーの測定データをスマートフォンで収集するBLEを用いたアプリケーションや、センサー・スマホ間の通信用基板などの開発も承っております。

ソフトウェアサービス

Webシステム開発

Amazon社(AWS)などのクラウドシステムを利用したインフラ構築をベースとした開発を中心としております。

クラウドサーバーを活用することで、情報伝達時に生じる伝達遅延・報告漏れを回避することができ、異なる部署・部門の情報をリアルタイムで正確に共有できるため、迅速にプロジェクトの策定・検討・実施を行うことができます。また、情報伝達に伴うスタッフの時間・労力・それに伴うコストの削減も期待できます。

トリロバイトは、フィールドスタッフの業務報告システム・途上国で蔓延する顧みられない熱帯病の症例情報収集・Excel帳票出力システム・広告コンテンツ提供システム・畜産動物の状態を収集するシステムなど、既に多数の実績があり、お客様にご好評をいただいております。

社内のルーティンワークを簡略化、DX化されたいなどのご相談も大歓迎です。

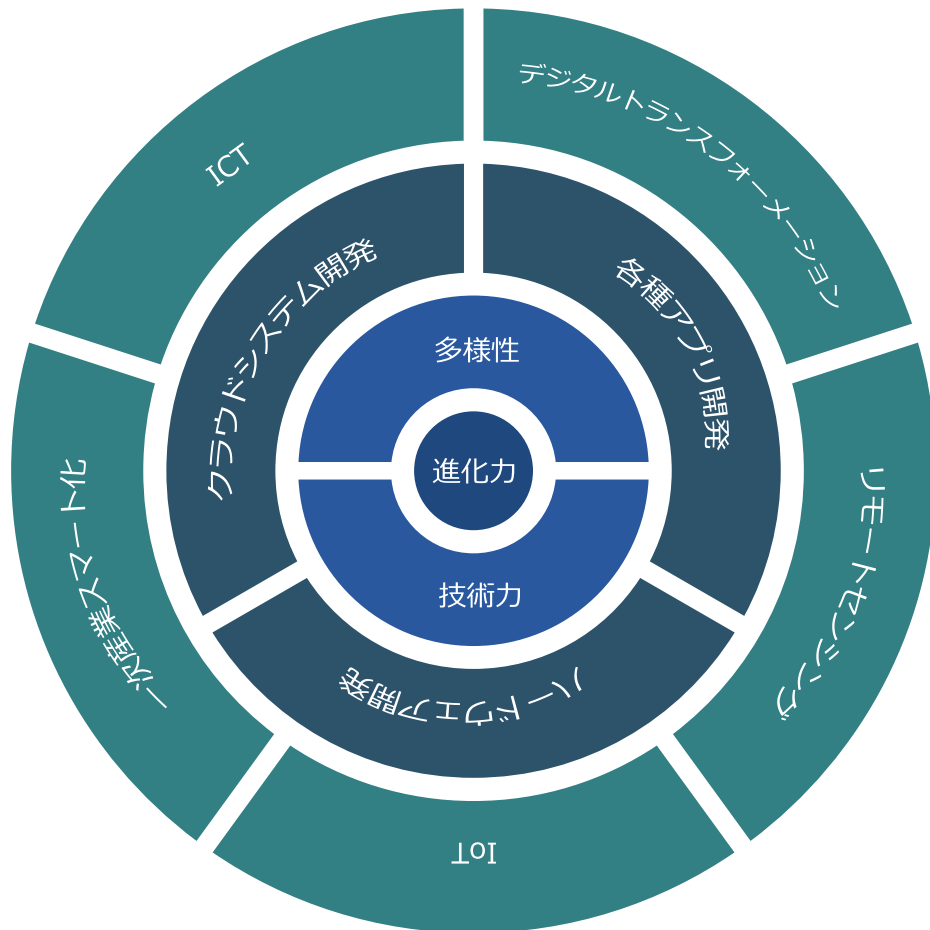
私たちは、お客様のご要望を詳細にお聞きし、実績経験からのご提案などを交え、一緒に作り上げていくワンチーム開発が得意です。インフラ構築・コンセプト設計・システム開発・データベースの構築など、全て工程を自社内のエンジニアでアサインしますので、お客様のご要望や環境に合わせて柔軟なご提案をお約束します。

スマートフォンアプリ開発

フィールドで得た情報をより効率的に活用したい。そんなご要望はトリロバイトにお任せください。トリロバイトは、Android・iOSのアプリ開発に多数の実績があります。

フィールドスタッフが撮影した途上国医療現場の画像を収集するタブレット用の医療系支援アプリ(eSkinHealth)、特殊環境下でのデータ収集アプリなど、トリロバイトがこれまで開発してきたスマートフォン・タブレット用アプリは多くの現場で活躍しています。今後益々発展が期待されるスマート農業・スマートファクトリー・スマート漁業など、デジタル化が進む一次産業での効率的な情報活用にも、私たちのこれまでの経験と実績がお役に立てると自負しております。

また、お客様の社内だけで使用するiPhoneアプリなどもご相談ください。これまでご使用になられていたシステムの特長、重視するポイント、改善・改良したい点をお伺いし、操作性に違和感のない、より効率的なシステムをご提案いたします。



ハードウェアサービス

当社のエンジニアは MPU/FPGA を踏査したデジタル処理基板を中心に、各種 IF ボード・医療機器・研究開発など様々なご要求に合わせた設計・開発ができます。

IoT

これまで省電力光通信試作機・IoT 向け BLE 汎用基板・無線タグ試作基板・FPGA& 無線 IF 基板の開発など多数のボード開発実績があり、先端高速通信ボード開発におけるノウハウを蓄積しています。また、例えば、環境をモニタリングする為のセンサー基板・測定したデータを、無線 IF に載せてスマートフォンで収集するアプリケーション IF まで一貫して開発するなど、蓄積したノウハウを応用し、トリロバイトが得意とするクラウドベースのアプリケーションとシームレスに連携した基板開発が可能です。ハードウェアだけでなく、その先のソフトウェアの運用まで見越したシステム開発を心がけています。さらに、5G が一般化され、通信フィールドがかつてないほど広がる中、さらに電力供給要件も厳しくなっております。バッテリーやエナジーハーベストで動作する省電力も視野に入れ、各種の研究開発もお手伝いさせていただきます。

医療機器向け

設立当初より、携帯医療機器の開発・顎運動センサー・近赤外線を使用した局所酸素飽和度測定の研究をはじめとする多くの医療機器の研究開発に携わってまいりました。「生体情報システム、及び生体情報測定方法」は日本はもちろん、米国、EU でも特許を取得しており、被験者の情報測定、収集、解析に伴う医療機器開発には自信を持っています。医療機器医療機器向けの仕様検討や設計方針・各種規格条件を満たした部品の選定・機器設計の経験を基に、プロジェクト全体を通してサポートさせていただきます。

画像処理

画像処理を主業とする開発会社からスピノフしたメンバーが創業した会社ということもあり、画像処理は最も得意とする分野です。5G が実用化され、従来の二次産業・三次産業に加え、スマートアグリカルチャのような一次産業の IoT 化が進む中、高精細画像の高速化・リアルタイム処理に対するニーズは今後益々高まり、またそれを必要とする業種、業務形態もさらに拡大していくことが予想されます。入力された画像の前処理やフォーマット変換・IF 変更・リアルタイム応答性を必要とする処理など、これまでの豊富な開発経験を基に、お客様のご要望に応じたご提案をさせていただきます。

会社概要

社名の由来

企業名の『トリロバイト』とは三葉虫を意味します。

三葉虫とは優れた視覚と多様性を備え、古代カンブリア紀に爆発的な進化を遂げた生物であり、5億年を経た今日でもその姿は世界中の人々を魅了します。

そんな三葉虫のように、優れた着眼点と多様な進化のバリエーションを持ち、いつの日か世界中のあらゆるソリューションに我々の名前が刻まれ、人々を魅了できるようになりたいとの思いで名づけられました。

起業ロゴは好奇心と力強さを兼ね備え、どんな無彩色と混ぜ合わせても鮮やかさを保てるという特徴があるオレンジで配色し、三葉虫の持つ『優れた視覚』『多様性』『爆発力』という3つの武器と、数学記号にて使用される『導き出される結論』という意味の『∴』を組合せました。

社名	株式会社トリロバイト
所在地	〒194-0021 東京都町田市中町 1-5-1 フレグラント町田 403
TEL	042-851-8011
代表者	代表取締役 高木 壘太
設立	2012年1月5日
資本金	9,900,000円
主な事業内容	画像処理技術を応用したソフトウェア製品の開発、販売、サポート 医療向けハードウェア、ソフトウェア開発
取得特許	「生体情報システム、及び生体情報測定方法」EU Patent No.3318190 「生体情報システム、及び生体情報測定方法」US Patent No.10,285,630 B2 「生体情報システム、及び生体情報測定方法」日本特許 特許第 6191977 号
主要取引先 (順不同・敬称略)	味の素株式会社 味の素 AGF 株式会社 アルセンス株式会社 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 株式会社ベクトロジー



実績例

【ハードウェアサービス】

屋外センサーデータ収集システム開発、eSkinHealth システム開発、クラウドサーバー連携システム開発、FPGA 動作検証テストベンチ作成、FPGA&無線IF基板開発、画像処理FPGA開発、無線タグ試作基板開発、IoT向けBLE汎用基板共同開発、IF変換基板開発、PCI系基板開発、ハンドヘルド医療機器開発、組み込みAndroid機器開発、顎運動センサー研究試作、検査機画像処理、省電力光通信試作機開発

【ソフトウェアサービス】

iPhone用アプリケーション開発、Android用アプリケーション開発、NTDs調査用Androidアプリケーション開発、業務効率化Webアプリケーション開発、広報利用Webアプリケーション開発、画像処理アプリケーション